

1. 第1回検討会の主な意見等

資料1-1

1

東口再開発について

- ・ 厳しい外的要因のもと、A案・B案を提示したことを評価。
- ・ 再開発は民間でできないことを無理にやることはできない。
- ・ 身の丈に合った採算性のある施設でなければならないが、特色や魅力が必要。ほかに負けない個性的なものにしたい。
- ・ 駅前商業の力が落ちていることを踏まえた見直しの方向性は良い。今後も経済社会情勢の変化が続くなか、持続可能な計画にすべき。
- ・ クルマ社会のなかで、駅周辺とはどういう場所なのか、どうあるべきか、今一度考えるべき。

東口に整備する市施設について

A案が良いとする意見 ⇒ なし

B案が良いとする意見

- ・ 学会や各種団体の大会などコンベンション機能が不足(同旨複数)。大規模なものは駅周辺のテルサなどと連携して開催すればよい。
- ・ A案では駅前に来て終わったら帰ってしまう。B案のほうがまちに開かれている。
- ・ 劇場など文化施設の利用は中高年層が中心。西口に劇場ホール(県文化センター)を整備し、東口はB案のような若者が使えるのが良い。

A案B案以外の提案

- ・ A案B案とも中途半端。劇場ホールやコンベンションホールは止めて、まちなか広場やパセオ通りとの連携も考えた屋内広場を整備すべき。

その他の提案

- ・ 市民が自由に集える屋内の施設があると、学生も集まれる。

西口の商業施設跡について

- ・ 劇場など文化施設の利用は中高年層が中心。西口に劇場ホール(県文化センター)を整備し、東口はB案のような若者が使えるのが良い。(再掲)
- ・ 中高年層が洋服などを買える場所、親子で集まれる場所がほしい。

駅周辺の交通・動線等について

- ・ 西口の駅前広場、東口の駅前広場や駅前通り・まちなか広場などで実施されているイベントは、東西の動線・連携があればより賑わうと思う。
- ・ 東西自由通路だけを考えるのではなく周辺の市街地と一体的に考え、人の流れをつくる「駅まち空間」として考えるべき。他都市の真似ではうまくいかない。
- ・ 東西それぞれの拠点への交通アクセスを考えてほしい。自転車で行きやすい場所にする 것도 大事(同旨複数)。
- ・ 東西自由通路は目標・課題設定を明確にし、まずは社会実験を進めてほしい。
- ・ 街を歩くことで、偶然の出会い・新しい発見がある。歩いて楽しい街にすれば人が集まると思う。
- ・ 西口にも魅力的なお店がある。点と点をつなぐことが必要。

まちづくりの進め方について

- ・ 若い人の意見を多く聞いてほしい。
- ・ 検討段階から自分事として考え、身近に感じられればきっかけになる。自分たちが育てていくという主体的な意識を形成することで、中高生が集まってくる。